



りっつんのフリーペーパー

# 読む、りっつん



## エコペーパー100の心意気!



07.9.26(水)

リッツン・リッツン  
ナチュラル紙と植物ストラン  
茨城県つくば市上野町147-6  
TEL/FAX 029-855-0003  
月曜定休(例年祝日の場合は翌日)  
営業時間  
純喫茶 10:00-19:00  
レストラン 11:00-19:00  
ラストオーダー 18:30  
「読む、りっつん」はこちらからどうぞ! → <http://www.rittsun.jp/>



# エコペーパー100



そもそもエコペー-100って?

A. この紙です!!

エコペー-100とは、環境NPO「中部リサイクル運動市民の会」が、製紙メーカーと共に開発した、環境のやさしさに徹底してこだわった紙!

これは、古紙は回収するだけでなく、再生紙として使ってこそ、初めて、リサイクルの輪がつながるという考え方によります。

2-4回リサイクル可!

B. エコペー-100... 製造中止のお知らせ

上に申し上げました、エコペー-100ですが、製造中止に追いこまれてしまいました。

中国等との古紙争奪戦、原燃料価格の高騰等の影響を受けてのことです。

すばらしい製品がなくなってしまうことは本当に...残念です...しかし、是非、この機会に再生紙やリサイクルのあれこれ、ご紹介したく思ひ、聲をとりました。

① いつか復活して、いただきたいですね...

再生紙にも色々あります  
 その1  
原料は新聞古紙100%!!

古紙配合率の偽装事件も、皆様の記憶に新しいと思います。実際、印刷用紙の古紙利用率は伸び悩んでいるのが現状です。

① この分野でも、古紙を使わなければ! だからエコペー-100は新聞古紙100%です。

その2 目と環境にやさしい  
白色度 60%

紙の白色度を上げるには  
さまざまな工程が必要です

① 漂白剤などの薬品の量を増やす

② 塩素系漂白剤の使用により、ダイオキシンの発生のリスクが増加してしまいます...

③ 19L/Lの水洗い時間を延長する

④ 原料の2割以上が流れてゴミになってしまいます。エネルギーと排水量もばかになりません。

できるだけ環境に負担をかけない色なのです!!



りっつんのフリーペーパー

# 読む、りっつん

見て見て!

エコペーパー100を作る人の心志気

リッツン  
アチャウム研究所とレストラン  
東京都文京区本郷3丁目7-5  
TEL/FAX 03-6556-0007  
月曜定休 (日曜祝日の場合は翌日)  
営業時間  
純喫茶 10:00-19:00  
レストラン 11:30-19:00  
ラストオーダー 18:30

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
休	休	休	休	休	休	休

「見る、りっつん」はこちからどうぞ→<http://www.rittan.jp/>



## 名古屋の 中部リサイクル運動市民の会 に、行ってまいりました

環境NPO、中部リサイクル運動市民の会とは

・1980年に発足した長い歴史の環境NPOです。

・「地域循環型市民社会」を目指し、

リサイクル、エコ商品の普及、企業や行政との連携 etc 幅広い活動を行っています

「いいことを続けるって…本当にすごいね」

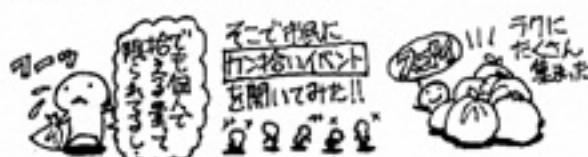
③ エコペーパー100から…自治体のゴミ処理計画の受託まで… 本当に幅広くやてら、しゃいますね

お話を伺った  
和喜田さん

幅広くなっちゃった…っていう感じですね(笑)

本来は、「リサイクル」という一つの事業をやっていたのですが周囲から声がかかりして、活動内容が広まっていきました

最初は自分達に  
「できうるところまで  
カン拾いかずまわ  
ましたが」



自分でただ頑張るよりも、「一人一人が動ける『場』」を用意してあげる方がずっと大切だと思ったのです。

なるほど～!! それですごく大きな発想転換ですね!

こうした取り組みで、名古屋のゴミは、一時「最悪」と言われた時と比べ、3割リサイクルに回すことができました。これは各自治体の中でも、かなりの割合です。

でもね…結局廃棄物として出される  
総量といつのは変わってないんですよ。  
大量消費社会は変わらないんです。



大量消費・大量リサイクルではないからだろ、という事で  
最近はエコマップなどを作りました。時代に応じて、  
その方法は変えても、目指すものは同じです。

## 中都Rさんの この言葉考え方 大スキです!!

うかがったお話や  
資料から私が  
活動した言葉は…



## システムと場づくり

地域に根ざした資源循環のためには、運動を日常化させることが必要です。そのためには、市民が参加できるシステムと場こそが大切です。自分達はそれを用意するだけでも喜び以上に頑張りません。主体的に動くのは、市民です。

頑張りすぎない  
発想が長続きの  
秘訣なのかも  
しません…

## 食える市民運動

打上げ花火的な活動は不安定で長続きしません。スタッフが安定してはじめて、その活動が発展できるのです。市民運動も稼いでその活動を支えてあげること、その事が結果的に良い社会を作ると言えています。

主話をそのまま  
りっつんに書き換えて  
考えてみたいのです。